修士論文中間試問会資料フォーマット Format of Proceedings for Preliminary Examination of Master's Thesis 社会 一郎

Ichiro Shakai

要旨を 400 字 (英語の場合は 250 words) 以内で簡潔に記述すること。要旨は 1 段組、左右 マージン 25 mm とすること。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 00000

1 はじめに

修士中間試問会の発表者は資料を作成し、指導 教員、アドバイザおよび教務補佐まで提出するこ とになっています。

資料は、修士論文の Extended abstract です。指導 教員および 2 名のアドバイザに事前に送付して読 んでいただきます。評価シートの評価はこの資料 および試問会における発表に基づいて行われます。 また、資料は専攻内で電子的に閲覧可能な状態と し、試問会当日には会場に回覧資料として配置し ます。

2 原稿作成の概要

2.1 表題

表題は研究内容を適切に表すものにすること。 「修士論文中間試問会原稿」などは不可。

2.2 構成

修士論文の Extended abstract として、研究の背 景、目的、方法、現在までに得られている結果と それに関する考察、修士論文作成までの予定など を記述すること。冒頭には要旨を記載すること。

2.3 使用言語

日本語または英語

2.4 ページ数

8ページ以上

2.5 用紙サイズと段組・レイアウト

A42 段組 (レターサイズや 1 段組は不可) ただし、要旨は1段組とすること。

マージン

上マージン 30 mm

下マージン 27 mm

左マージン 18 mm

右マージン 18 mm

コラム間はマージン 7 mm を目安とする 表題、著者名、所属の配置は見本に従うこと。 ページ番号はつけない。

所属:

指導教員:

2.6 フォント

を使用すること。

英文: Times, Times New Roman など 和文:MS明朝・ヒラギノ明朝など明朝フォント

2.7 文字サイズ (厳守) と行間

文字サイズ 表題 12 ポイント 著者名 10.5 ポイント 本文見出し 10.5 ポイント 本文 10.5 ポイント

行間

シングルスペース(行間1行)

2.8 所属の表記方法

所属: [講座名] • [分野名] 指導教員: [指導教員名] とする。

例: 社会情報モデル講座・分散情報システム分野 指導教員: 吉川正俊

1ページ目左下に記載すること。

2.9 写真や画像の解像度

PDF を作成する際に写真や画像の解像度が低く なりすぎないよう注意すること。例えば Acrobat Distiller を利用する場合、標準の設定では画像の解 像度が低くなりすぎる場合があるので注意するこ と。300 DPI 以上の解像度を目安にすること。

2.10 カラー画像などについて

カラーの使用に制限はありません。ただし、試 問会当日に会場で回覧される資料はモノクロで作 成されます。

2.11 ファイルの形式

原稿は任意のツールで作成してよいが、最終的 には PDF ファイルとして提出すること。

3 資料提出の概要

3.1 提出方法

原稿を作成要領に従って作成した後、PDF ファ イルを作成し、京都大学学習支援サービス PandA (https://panda.ecs.kyoto-u.ac.jp/portal) を通じて提出 して下さい。PandA にログイン後、「2022 社会情報 学専攻」の課題として添付してください。ファイ ルサイズは 10MB を超えないようにして下さい。

3.2 ファイル名の付け方 提出するファイルのファイル名は以下のように して下さい。

<LastName>_<FirstName>.pdf 例) Shakai_Ichiro.pdf